

7

2024  
Vol.516

ひろがれ じんけんネットワーク

三木市人権啓発紙

隣保館だより

RINPOKAN DAYORI



ホームページ URL  
<https://www.city.miki.lg.jp/site/sou-gourinpokan/>



隣保館で活動する自主活動サークル

「書を楽しむきらきら教室」のみなさん



結成 22 年目を迎える「きらきら書道」は現在月 1 回、総合隣保館で活動しています。障がいのある人もない人も共に活動する中で互いを尊重し合い、それぞれが自分の今を自由に表現した作品を創作しています。障がいのある人が放つ光（輝く瞳、感動の作品）は、未来を明るく照らす希望の光となっています。

「書を楽しむきらきら教室」代表 藤原 常貴

❖ 「隣保館だより」は、市民の皆様にご覧いただき、総合隣保館の活動や人権尊重の生き方のヒントになるような情報をお届けする啓発紙です。

❖ 次ページ「人権の小窓」は、「イクメンパパ」として妻と共に子育てに励まれている三木市立平田小学校教諭、森下剛志さんと、三木市役所危機管理課、藤原功典さんへのインタビューです。

# 人権の小窓(266)

## "イクメン" パパに インタビュー

令和4年10月に地方公務員育児休業法が改正されるなど、男性職員も当たり前育児休業を取得する社会へと変わりつつあります。このたび、三木市内の小学校教諭森下剛志さん(37歳)と、この6月、育児休業後に職場復帰された市役所職員、藤原功典さん(29歳)のお二人の「イクメンパパ」に、育児休業中の子育てや家庭生活についてお話を伺いました。

### 平田小学校教諭 森下剛志さん

Q. こんにちは。よろしくお願いします。森下先生は2回目の育児休業(以下「育休」)中ですか。

森下 はい。私は3人子どもがいるのですが、1回目の育休は2人目が生まれた後の2022年4月~2023年3月までの1年間、そして現在3人目の子どもが生まれ、2024年1月から2024年11月までの11か月の予定で育休を取っています。

Q. 森下先生が育休を取るようになったきっかけは何ですか。

森下 1人目の誕生後すぐにコロナが流行し始めて、家から一步も外に出られない、いわゆる「コロナ育児」の経験が大きいです。外出もできず不安の中、家でひとり子どもと向き合う妻が本当に辛そうでした。ちょうどそのころ、テレビなどで「育休パパ」や「イクメン」が話題になっていたり、共働きで教員をしている友人から育休を取ることを聞いたりしたことで、「育休、いいかも。」と思うようになりました。その後、2人目を授かった時に、辛そうだった妻の負担が軽減するのならと思い、決断しました。

Q. 周囲の理解が得られないこともあったのではありませんか。

森下 それはあまりなかったのですが、学校に迷惑がかかるのではないかと、休業中の代替教員が見つかるか、私の休業をよく思わない人もいるのではないかと、「休んですみません」といった気持ちも大きかったです。

Q. 収入はどうになりましたか。

森下 妻はいわゆる専業主婦で、実はそのことがとても心配でした。育休中は給与が支給されません。



しかし、育児休業手当金として子どもが1歳に達するまで180日間は67%、それ以降は50%が共済組合から支給されるので助かりました。

ただ、ボーナスは出ませんし、貯えはぐんと減りましたが。

Q. 家庭での様子をお聞かせください。

森下 食事は主に妻が担当してきていましたが、それ以外の家事は分担して、片方が家事をしている時は、もう片方が子どもの相手をするという感じでした。

Q. 育休で変化したことがありますか。

森下 はい。私についていえば、子どもの日々の成長をリアルタイムで見られることが何よりの喜びです。これまで寝返りしかできななかった子どもが、ある日突然這い始めたりする瞬間に出会えたりするのは何より嬉しいもので、育休でないと経験できません。

子どもにとっては、私は今まで朝に出勤して夜遅く帰ってくる、まれにしか見ないレアキャラだったのが、いつも頼れる父親になったことで、妻は「子どもの心が安定している。」と言います。また、妻にとっては「時間的にも精神的な面でもゆとりができた。」「パパがいなかったら私はもっと子どもたちに感情的に怒っていたらろう。」とか、「困った時に相談する相手があった。」などと喜んでくれています。

でも育休を取っても、母乳育児なので授乳は母と子どもだけの時間になります。夜中でも授乳をがんばっている妻を見守ることしかできず、自分も代わってできればいいのと思います。日々奮闘する姿に感謝と尊敬でいっぱいです。

Q. 育休によって家庭円満ですね。

森下 そうですね。育休様々です。あと近所のママたちからも、決まって「本当に良いことをされていますね」と言われます。私はもっと男性が育休を取りやすくなるように、社会全体の意識が変われば多くの人々が幸せになると強く感じます。

Q. 本日はありがとうございました。

## 三木市職員 藤原功典さん

Q. こんにちは。藤原さんは、近ごろ育休を終えて職場復帰されたそうですね。

藤原 はい、私は5月7日から5月31日までの約1か月間、育休を取りましたので、復帰してきたばかりです。

Q. 1か月ですか。制度的には3歳まで取れることになっていきますのでもっと長く取れたのではないですか。

藤原 はい、でも、業務との兼ね合いもあってそのぐらいがいいと。でも、法が変わってもう一回取れるとのことなので、どこかのタイミングでもう一回取れればいいかなと考えています。

Q. 3歳まで2回取れるようになりましたね。藤原さんは最初から育休を取るつもりだったのですか。

藤原 はい。テレビや職場などでも男性育休のことが取り上げられていましたので、取りたいと思っていました。妻も私と同じ市の職員で、妻は2年間育休を取っています。

Q. イクメンとしての一日を教えてください。

藤原 娘は朝早く目覚めるので、朝5時ごろに起きて、だっこしたりあやしたりしてもう一度寝かせます。それから7時か8時ごろ20分か30分ほど外へ散歩に出かけます。いろいろな刺激を入れた方がいいと言われていたし、それも太陽が昇りきる前がいいということなので。食事もほぼ毎食作っていました。お風呂に入れるのは私で、あと掃除や洗濯などの家事は二人で。割合でいえばだいたい私が6割、妻が4割という感じでやっています。

Q. 育児について、参考にされたものはありますか。

藤原 何も参考にしていません。私は4人兄弟の末っ子で、幼い甥っ子や姪っ子たちとよく遊んだり世話をしたりした経験があるのでその延長線上というか。

Q. 育児で困ることはなかったのですか。

藤原 やはり泣き止まない時にどうしたらいいか困りました。妻と二人であやしたり寝かしつけたりしますが、なかなか泣き止まず、本当に悩みますね。

Q. 育休を取ってよかったことは。

藤原 妻が言っていたのは、実家にいた時、産んですぐは女性のホルモンバランスの影響か、子どもが泣いたらどうしていいか分からず、涙が出たり、不安感に襲われたりして、メンタル面でつらくなったので、私が早めに育休を取ってくれて助かったということでした。

Q. 育児をしていて感じたことは。

藤原 生まれてすぐの子どもは、大きくなるのが早いということ先輩から聞いていたのですが、本当にその通りで、最初は笑わなかったのに1か月もすると笑うようになってたり、3,200gだった体重も今では5キロを超えてきたりしていて、成長のスピードを実感できるのが嬉しいです。

Q. 復帰された今と、育休中とで違うことは。

藤原 そうですね。仕事が終わって家に帰ると、子どもが私を冷たい目で見ているような感じがします。「あんた誰？」というような。やはり、昼間一緒にいられる方がいいですね。

Q. 子育てをされて自分が変わったと思えることがありますか。

藤原 育休を取ったことで父性が育ったというか父親になったと実感したのは確かですね。今、夜中に寝ていても、子どもの声が聞こえたような気がして目が覚めることがあります。実際、子どもは泣いていないのですが。

Q. お子さんのことで頭が一杯ですね。どうもありがとうございました。



### インタビューを終えて

二人のイクメンパパのお話を聞いて感じたことは男性が育児休暇を取ることで「父」と「母」が子どもに平等に愛情を注ぐ時間を生み出すことができるということです。それは、男性に「子どもを育てる権利」を保障することだと言えるでしょう。

私は、新しい時代の新しい育児スタイルで育った子どもが大人になった時、自分を育ててくれた父親のことをどう思うか、いつかインタビューしてみたいと思いました。

隣保館カレンダー 7月

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	月		17	水	
2	火	経営・職業相談 10:00～	18	木	人権相談 13:00～ (三木市役所) 茶道教室 9:00～ ネルソン・マンデラ国際デー
3	水		19	金	経営・職業相談 10:00～
4	木		20	土	茶道教室 13:00～ 書を楽しむきらきら教室 13:00～
5	金	経営・職業相談 10:00～ 人権相談 13:00～ (緑が丘町公民館)	21	日	
6	土		22	月	エアロビクス講座 14:30～15:30
7	日		23	火	経営・職業相談 10:00～
8	月	エアロビクス講座 14:30～15:30	24	水	
9	火	経営・職業相談 10:00～	25	木	人権教育指導員研修会定例会 15:00～ 手芸サークル 13:30～
10	水		26	金	経営・職業相談 10:00～
11	木	手芸サークル 13:30～	27	土	茶道教室 13:00～ 東人教研究大会 (西脇) 12:00～
12	金	経営・職業相談 10:00～	28	日	
13	土	生命尊重の日	29	月	
14	日	国際ノンバイナリデー	30	火	経営・職業相談 10:00～
15	月	海の日	31	水	
16	火	経営・職業相談 10:00～			

課題図書を購入しました。

隣保館で貸出しますので、ご利用ください。

(「書名」・作者・出版社)

- ①「アザラシのアニュー」・あずみ虫・童心社
- ②「ごめんねでてこい」・ささきみお・文研出版
- ③「おちびさんじゃないよ」・マヤ・マイヤーズ  
・イマジネーション・プラス
- ④「どうやってできるの?チョコレート」・田村孝介ほか  
・ひさかたチャイルド
- ⑤「いつかの約束 1945」・山本悦子・岩崎書店
- ⑥「じゅげむの夏」・最上一平・佼成出版社
- ⑦「さようならプラスチック・ストロー」・ディー・ロミート・  
光村教育図書
- ⑧「聞いて聞いて!」・高津修 他・福音館書店
- ⑨「ぼくはうそをついた」・西村すぐり・ポプラ社
- ⑩「ドアのむこうの国へのパスポート」・トンケ  
・ドラフト・岩波書店
- ⑪「図書館がくれた宝物」・ケイト・アルバス  
・徳間書店
- ⑫「海よ光れ! : 3.11 被災者を励ました学校新聞」  
・田沢五月・国土社
- ⑬「ノクツドウライオウ:靴ノ往来堂」・佐藤まど  
か・あすなる書房

- ⑭「希望のひとしずく」  
・キース・カラプレーゼ・理論社
- ⑮「アフリカでバッグの会社ははじめました」  
・江口絵理・さ・え・ら書房
- ⑯「宙わたる教室」・伊与原新・文藝春秋
- ⑰「優等生サバイバル」・ファン・ヨンミ・評論社
- ⑱「私の職場はサバンナです」・太田ゆか・河出書房

令和6年度 HYOGO ヒューマンライツ  
作品コンテスト募集

文芸部門 期間 6月3日(月)～9月6日(金)

動画部門・イラスト部門

期間 6月3日(月)～9月27日(金)

問合せ先

公益財団法人 兵庫県人権啓発協会「HYOGO ヒューマンライツ作品コンテスト」〇〇部門係

TEL 078-242-5355 FAX 078-242-5360

人権啓発紙「隣保館だより」7月号

令和6年7月1日発行(毎月1日発行)

三木市市民生活部 人権推進課編集

〒673-0501 三木市志染町吉田 823

三木市立総合隣保館 TEL 0794-82-8388

FAX 82-8658 E-mail:jinken@city.miki.lg.jp